

妄想劇場 帰り道豊田編再び。

愛知県豊田市に赴任するようになったある日の帰り道、愛知環状鉄道の某駅前で突然視界を遮られた。

すると、聴き慣れた若い女性の声が聞こえた。

若い女性：だあ〜れだ？

私：梨華ちゃん。

(^▽^)：あったりい〜、Ran くん、迎えに来たよ。

私と梨華ちゃんは愛知環状鉄道岡崎行き電車に乗り込んだ。

(^▽^)：Ran くん、お仕事お疲れ様。

私：ありがとう、梨華ちゃん。

(^▽^)：Ran くんって良く頑張ってるよね。往復するだけでも大変なのに・・・。

私：梨華ちゃんがいるから頑張れるのさ。

(^▽^)：そんな直向きな Ran くん、あたしは大好きだよ。

私：梨華ちゃん・・・。

電車は岡崎市の岡崎駅に着いた。

普通の定期で一旦改札を出て TOICA でもう 1 回入り直す。

(^▽^)：ここから金山まで TOICA の出番だよ。ずっと持っていて良かった。

私：1 年と四半期ぶりだからね。

岡崎駅で JR 東海道線に乗り換える為に改札を通過すると新快速大垣行き電車に乗り込んだ。

(^▽^)：Ran くん。

私：何だい、梨華ちゃん？

(^▽^)：あたし達もうすぐ 3 年目だよ。

私：そうだなあ。梨華ちゃんに告白された時のこと今も覚えてるよ。

(^▽^)：あたし、Ran くんの前だと凄く素直な気持ちでいられるの。

私：完全に相思相愛だね。

(^▽^)：だって、超大好きな Ran くんだからありのままの自分を曝け出せるんだもん。

私：そう言ってもらえると嬉しいよ。私だってありのままの梨華ちゃんが大好きだから。

(^▽^)：えへへ・・・。(// ^▽^) ♪ えへへっ♪

電車は名古屋市内へ・・・。

金山駅で JR 東海道線から地下鉄 E 線に乗換え、自宅の最寄り駅へ・・・。

梨華ちゃんは私の手をギュッと握りしめ、腕にしがみ付く。

その表情は凄く幸せそうだった。

端から見ると凄くラブラブなカップルの姿がありました。

2 人は家に着いた。

(^▽^): ずっとそばにいてね。

私：勿論だよ。

(^▽^): Ran くん、大好きよ。チュッ(^ 3 ^)-☆Chu!!

梨華ちゃんは私の頬にキスをした。

私：幸せだなあ。

私と梨華ちゃんの恋物語は3度目の夏も熱く続く。